



製品規格



自在R連続基礎の規格は以下の6種類

- S型 ・・・幅 650mm×高 600mm
- B型 ・・・幅 400mm×高 450mm
- A型 ・・・幅 630mm×高 450mm
- H型 ・・・幅 750mm×高 500mm
- R S基礎・・・幅 1090mm×高 450mm
- 交差点用・・・幅 1105mm×高 300mm

製品形状 各規格、ボルト連結により連続基礎として構築します

A型・B型・S型 スタンダードな形状

基本	端部 A	端部 B
		




H型 高規格道路に対応するためボルト 2 本で強固な連結

基本	端部 A	端部 B
		

RS基礎 土留めの機能を兼ねる為底版を有している

基本	端部 A	端部 B
		

交差点基礎 短延長に対応すべく断面幅を広げ基礎高は 300mmとした

基本	端部 A	端部 B
		

**置式
埋設**

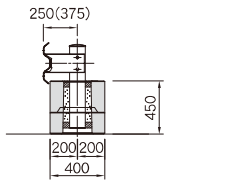
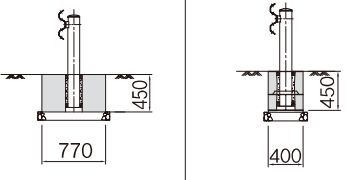
B種・C種用の防護柵連続基礎

B型

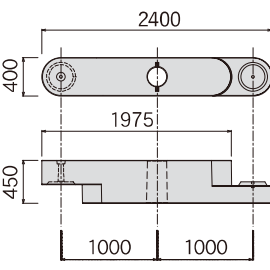
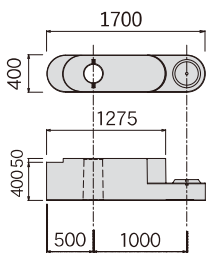
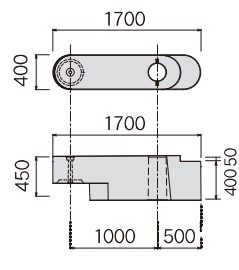
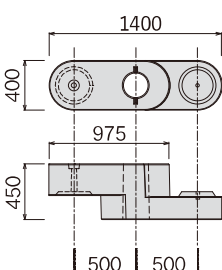
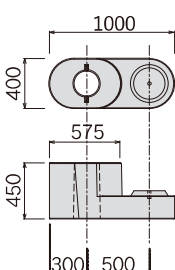
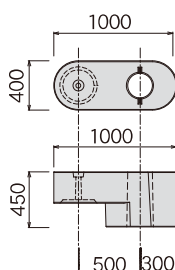
B種・C種に対応可能な
もっとも経済的で
スタンダードな規格



参考必要延長一覧表

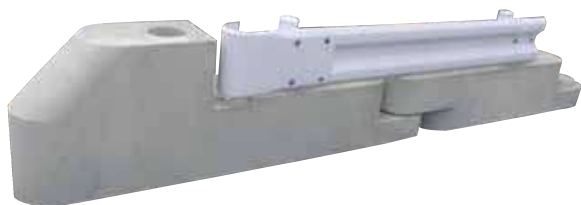
置き式使用時			埋設式使用時		
衝突条件	衝突荷重	B型	衝突条件	衝突荷重	現場打 B型
B種 C種	30 kN	断面 	B種 C種	30 kN	断面 
計算上の必要延長		B種33m C種34m	計算上の必要延長		10m 28m

規格一覧表

規格	基本	端部A	端部B
形状			
重量	778kg	547kg	566kg
規格	基本 (1m)	端部A(1m)	端部B(1m)
形状			
重量	346kg	257kg	274kg

規格	両端部A	両端部B	1m調整端部 端部AL	1m調整端部 端部BL
形状				
重量	758kg	797kg	946kg	962kg

先端工 ノーズブロック



形状	
重量	1284kg

先端工 ノーズブロック ドラム (ND)



形状	
重量	933kg

先端工 分流ノーズドラム (NDW)



形状	
重量	2530kg

**置式
埋設**

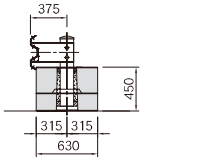
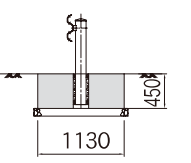
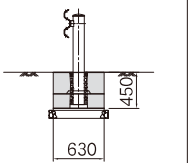
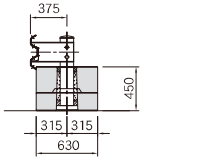
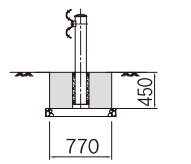
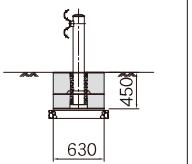
C種～A種まで対応可能

A型

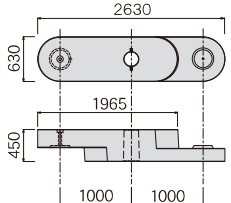
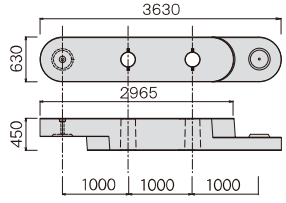
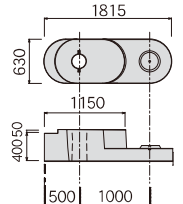
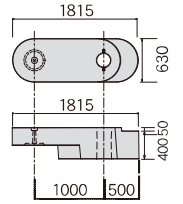
A種まで対応可能
置き式・埋設式
どちらでも使用可能です



参考必要延長一覧表

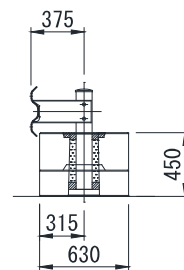
置き式使用時			埋設式使用時		
衝突条件	衝突荷重	A型	現場打	A型	
A種	55 kN	断面 	断面 	断面 	
計算上の必要延長		26m	10m	29m	
B種 C種	30 kN	断面 	断面 	断面 	
計算上の必要延長		B種14m C種15m	10m	15m	

規格一覧表 ●A種適応の連続基礎として ●B・C種条件において必要設置延長が短い箇所へ

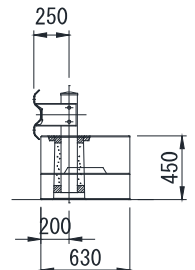
規格	基本	基本3m
形状		
重量	1202kg	1846kg
規格	端部A	端部B
形状		
重量	820kg	883kg

支柱建込位置について

[標準タイプ]



[偏芯タイプ]



A型は支柱穴が片側へ寄った偏芯タイプがございます。偏芯タイプを使用することで置き式時は幅狭のブラケットが設置可能となり、埋設時には支柱位置を歩道側、または車道側へ寄せて設置することが可能となります。

埋設

短延長の埋設専用連続基礎

S型

高さ 600 mm × 幅 650 mm
連続延長 10 m で安全確保



参考必要延長一覧表

衝突条件	衝突荷重		現場打	S型
A種	55 kN	断面		
計算上の必要延長			10m	20m (基礎延長は21mとなります)
B種 C種	30 kN	断面		
計算上の必要延長			10m	10m (基礎延長は11mとなります)



規格一覧表

規格	基本	端部A	端部B
形状			
重量	1690kg	1178kg	1241kg

- 歩道分離、路肩部の埋設基礎
- 短延長で安全を確保したい箇所へ

置式

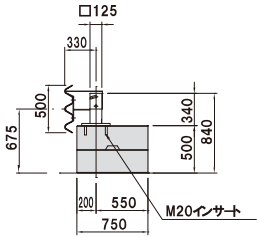
高規格道路 S B種対応

H型

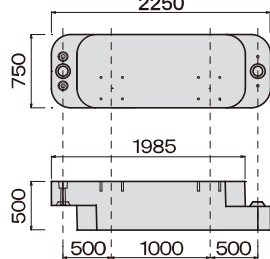
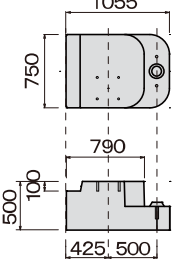
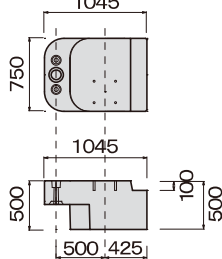
大断面、ボルト2本連結で
高規格道路、S B種対応の
安全な置き式防護柵基礎



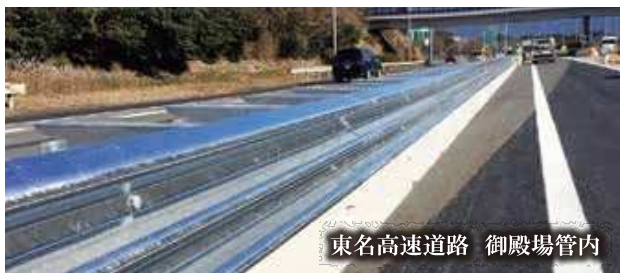
参考必要延長一覧表

衝突条件	衝突荷重	H型						
SB種	80 kN	断面		設置箇所	仕様番号	衝突荷重 (kN)	衝突高 (GLからビーム中心)	安定計算による必要連続延長 (m)
			路側設置	GR-SB-1BP(特)	80	675mm	24	
		計算上の必要延長	24m	中央分離帯	GR-SC-2BP(特)	60	675mm	18
					GR-SBm-1BP(特)	80	675mm	24
					GR-SCm-1BP(特)	60	675mm	18

規格一覧表

規格	基本	端部A	端部B
形状			
重量	1739kg	781kg	767kg

※防護柵支柱はベースプレート式建込となります
支柱設置位置は中央分離帯に使用する場合、基礎中心となります



埋設

路肩部の埋設専用連続基礎

RS基礎

底版を有し
土留めとしての機能も担う
路肩部専用規格



参考必要延長一覧表

衝突条件	衝突荷重		現場打	RS型
A種	50 kN	断面		
計算上の必要延長			10m	16m
B種 C種	30 kN	断面		
計算上の必要延長			10m	10m



規格一覧表

規格	基本	基本3m	端部A	端部B
形状				
重量	1159kg	1755kg	907kg	841kg

- 外R最小10Rまで対応可能
- 路肩部・ブロック積擁壁上部・補強土壁上部などに設置可能

埋設

交差点部の埋設専用連続基礎

交差点用

基礎高 300 mm
必要最低延長 5 m で
防護柵設置を可能にします



参考必要延長一覧表

衝突条件	衝突荷重		現場打	交差点
B種 C種	30 kN	断面		
計算上の必要延長			5m	5m

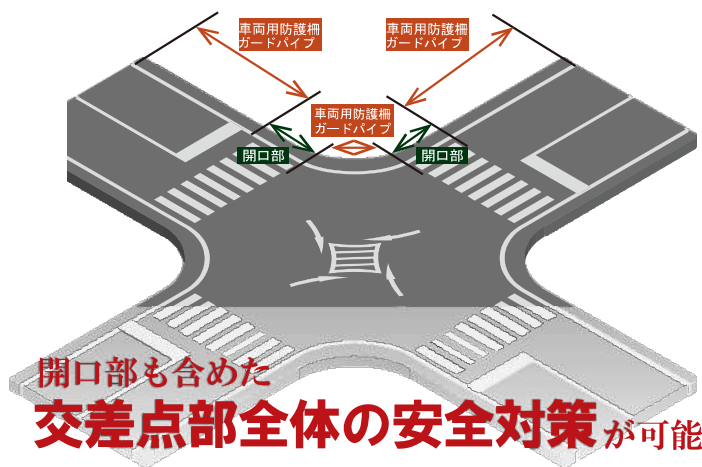


動画でよりわかりやすく！

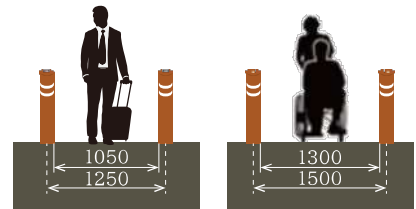
交差点の安全対策の御提案



基礎設置例



開口部 ※歩行者などの通行を考慮した有効幅 1.0m以上の間隔を推奨します。



ガードパイプ



規格一覧表

規格	基本	端部A	端部B
形状			
重量	1157kg	895kg	900 kg

規格	B	B1	B2	H	H1	H2
L=2.0						
L=1.5	1105	400	705	300	145	145
L=1.25						

規格	B	B1	B2	H	H1
L=2.0					
L=1.5	1105	400	705	300	145
L=1.25					

規格	B	B1	B2	H	H1
L=2.0					
L=1.5	1105	400	705	300	145
L=1.25					

規格	L	L1	L2	L3	L4	L5	重量 (kg)
L=2.0	2400	1000	1000	1785	1585	2060	1157
L=1.5	1900	750	750	1285	1085	1560	828
L=1.25	1650	625	625	1035	835	1310	662

規格	L	L1	L2	L3	L4	L5	重量 (kg)
L=2.0	1700	1000	500	1363	1263	1360	895
L=1.5	1450	750	500	1113	1013	1110	730
L=1.25	1450	625	625				

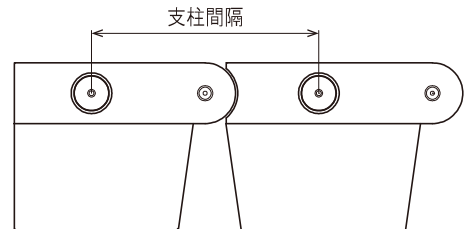
規格	L	L1	L2	L3	L4	重量 (kg)
L=2.0	1700	1000	500	1422	1322	900
L=1.5	1450	750	500	1172	1072	734
L=1.25	1450	625	625			

各規格組み合わせによる支柱間隔

組み合わせ	支柱間隔
L=2.0 + L=2.0	2.0m
L=2.0 + L=1.5	1.75m
L=2.0 + L=1.25	1.625m
L=1.5 + L=1.5	1.5m
L=1.5 + L=1.25	1.375m
L=1.25 + L=1.25	1.25m

← ガードパイプ標準間隔

← 歩行者通行の安全を配慮した
ポラード設置に適した間隔



3種類の長さ規格の組み合わせにより
現場条件に合わせた設置を可能とします

